

奈良県観光客動態調査報告書

令和5年1月～令和5年12月

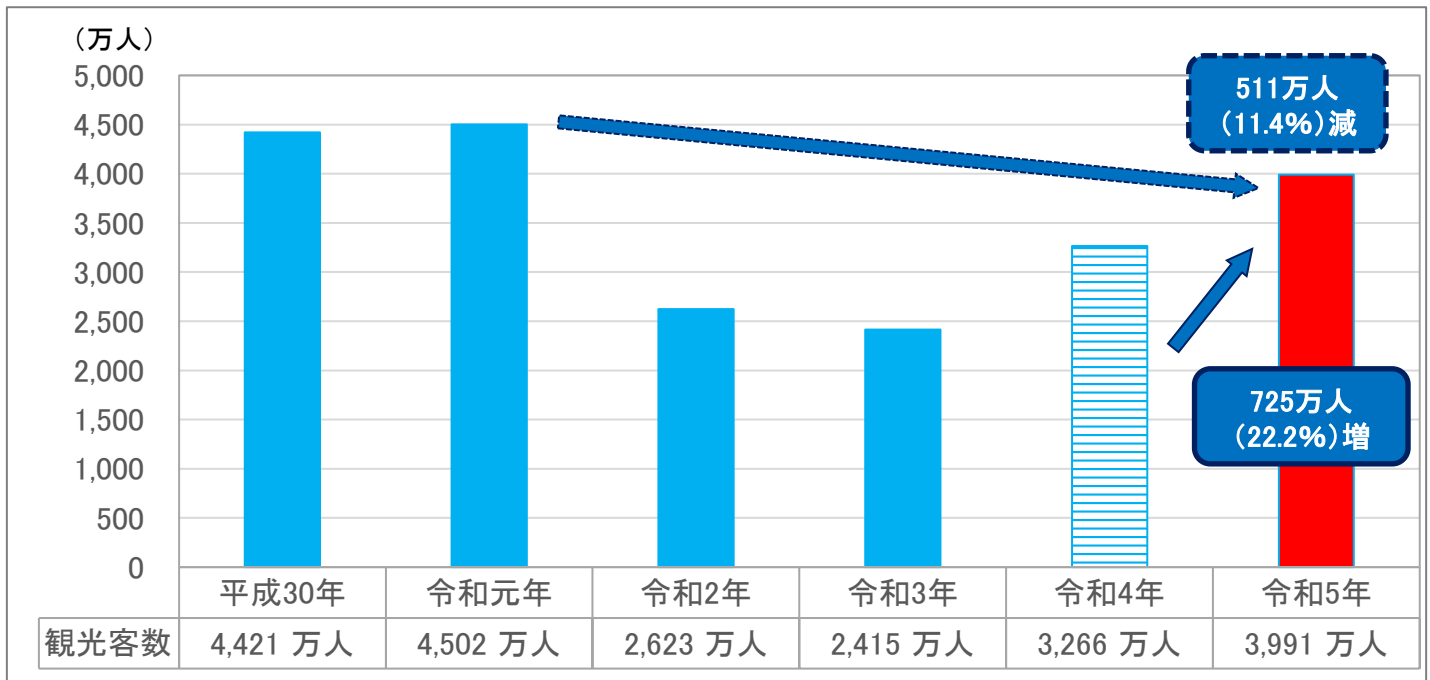
奈良県観光局観光戦略課

1. 奈良県への観光客数(延べ人数)

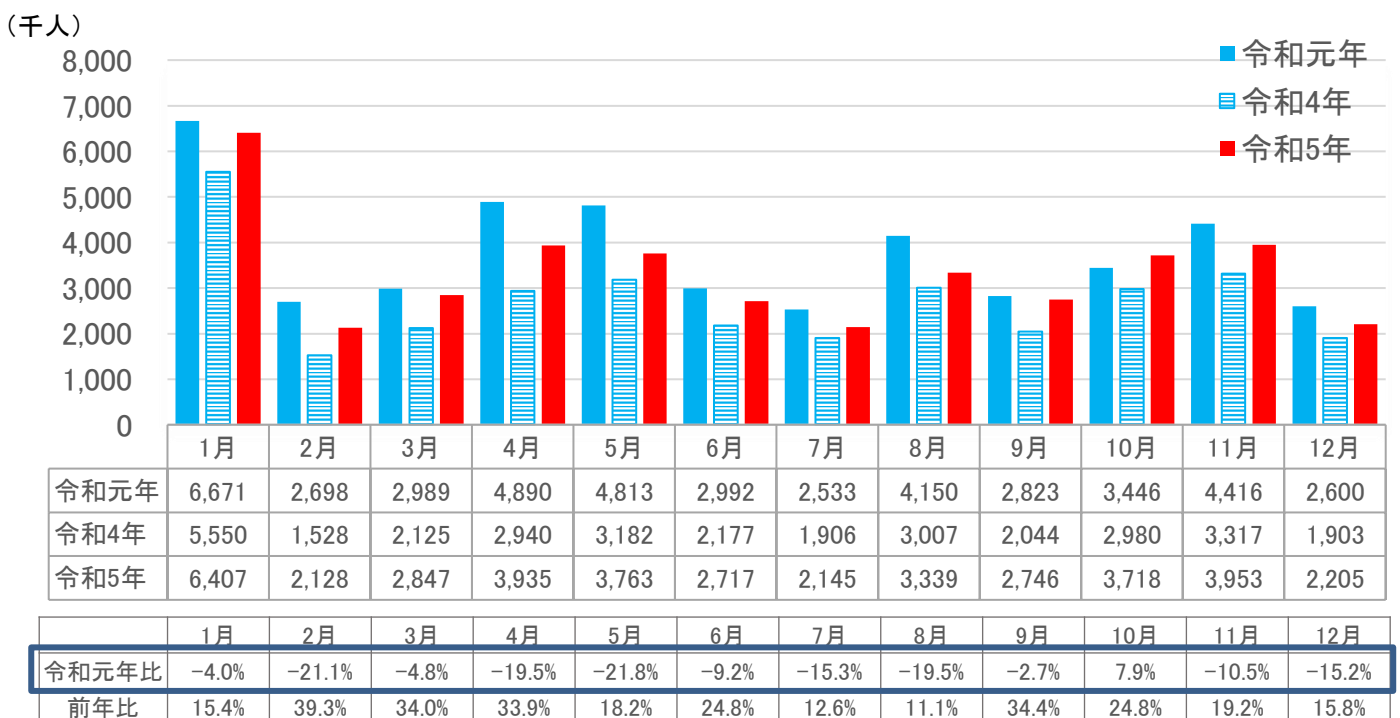
令和5年の奈良県観光客数は**3,991万人**で、前年比**725万人(22.2%)**の増加となりました。また、新型コロナウイルス感染症が拡大する直前の令和元年と比較すると、**511万(11.4%)**の減少となりました。

令和5年結果を月別に見ると、1月～3月は「いまなら。キャンペーン2022プラス」の効果があり、前年と比べて増加しました。さらに、4月から「いまなら。キャンペーン2023」が開始し、5月からは新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症になったことや、令和4年10月に水際対策に係る措置が大幅に緩和されたことで外国人観光客数が戻ってきたことから、前年と比べて全ての月において観光客数は増加しました。

延べ観光客数推移【平成30年～令和5年】

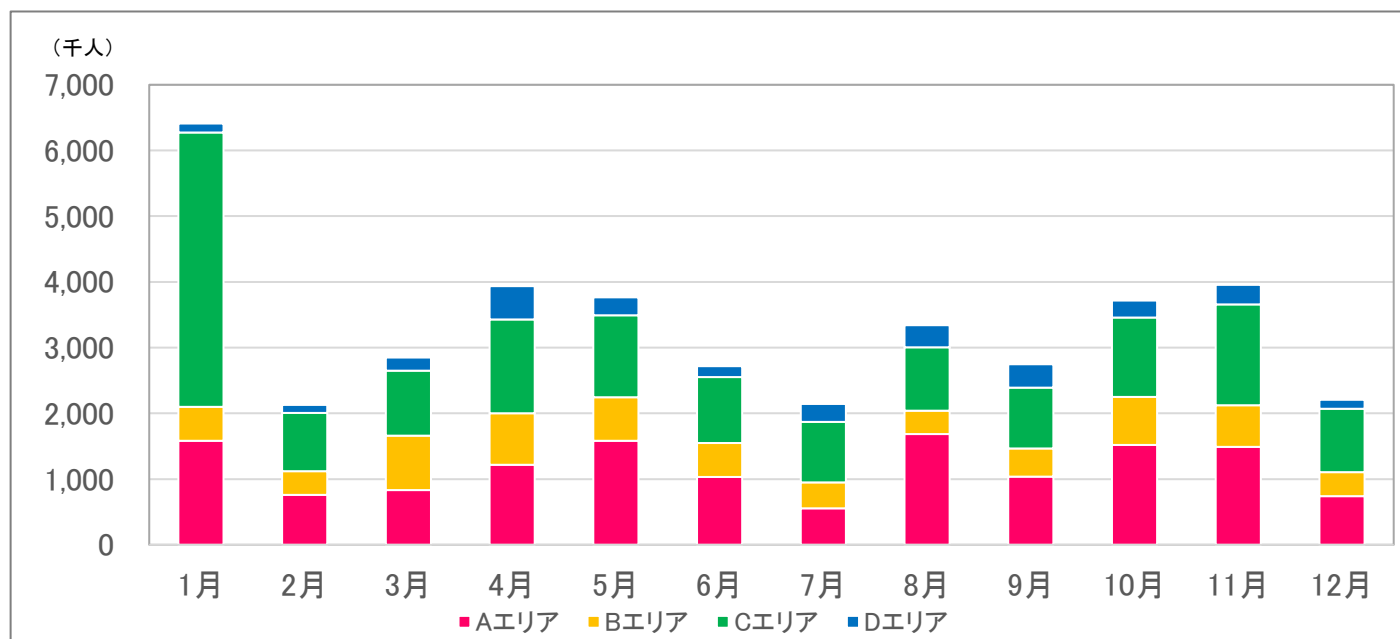


月別観光客数比較【令和元年、令和4年、令和5年】



2. エリア別観光客数

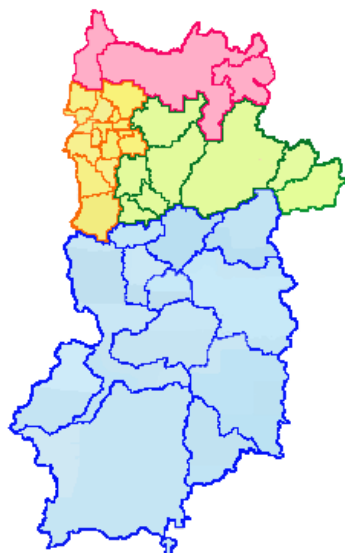
エリア別・月別観光客数



(単位:千人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
Aエリア	1,585	758	832	1,220	1,581	1,033	556	1,684	1,039	1,520	1,491	738	14,039
令和元年比	-47.9%	-70.9%	-47.7%	-56.4%	-45.0%	-43.6%	-43.7%	-38.0%	-36.7%	-41.5%	-31.0%	-37.2%	-44.5%
前年比	43.0%	18.6%	30.7%	84.3%	316.6%	137.3%	21.4%	349.8%	100.8%	20.3%	22.7%	30.9%	72.7%
Bエリア	516	362	830	780	666	514	393	358	425	730	632	366	6,572
令和元年比	38.9%	13.5%	-4.2%	-33.8%	8.6%	9.4%	15.2%	22.5%	17.8%	52.5%	8.9%	14.2%	7.7%
前年比	77.3%	23.0%	25.5%	69.9%	102.6%	120.8%	60.6%	61.5%	74.5%	60.5%	54.5%	26.6%	61.4%
Cエリア	4,170	887	986	1,429	1,244	1,003	920	962	928	1,206	1,534	967	16,234
令和元年比	-10.4%	-36.1%	-26.2%	-37.8%	-38.0%	-27.3%	-25.3%	-23.8%	-35.6%	-12.2%	-29.3%	-30.1%	-25.4%
前年比	13.0%	-11.0%	21.1%	32.1%	49.5%	32.0%	5.3%	24.2%	4.7%	23.6%	6.3%	-2.6%	15.2%
Dエリア	137	121	199	506	272	168	276	335	354	262	296	134	3,061
令和元年比	-15.0%	-27.0%	-24.7%	-20.8%	-31.4%	-26.2%	-18.6%	-28.7%	-27.6%	-4.9%	-31.6%	-30.0%	-24.4%
前年比	11.0%	-11.8%	-2.6%	48.2%	38.0%	16.6%	-1.2%	11.4%	-5.2%	-5.1%	4.7%	-6.1%	10.5%
計	6,407	2,128	2,847	3,935	3,763	2,717	2,145	3,339	2,746	3,718	3,953	2,205	39,905
令和元年比	-16.8%	-43.4%	-28.9%	-39.9%	-33.9%	-27.2%	-24.8%	-27.5%	-27.6%	-13.5%	-24.9%	-26.8%	-27.5%
前年比	23.0%	1.0%	22.2%	53.2%	104.0%	68.9%	16.3%	83.5%	35.2%	27.4%	18.8%	12.0%	35.2%

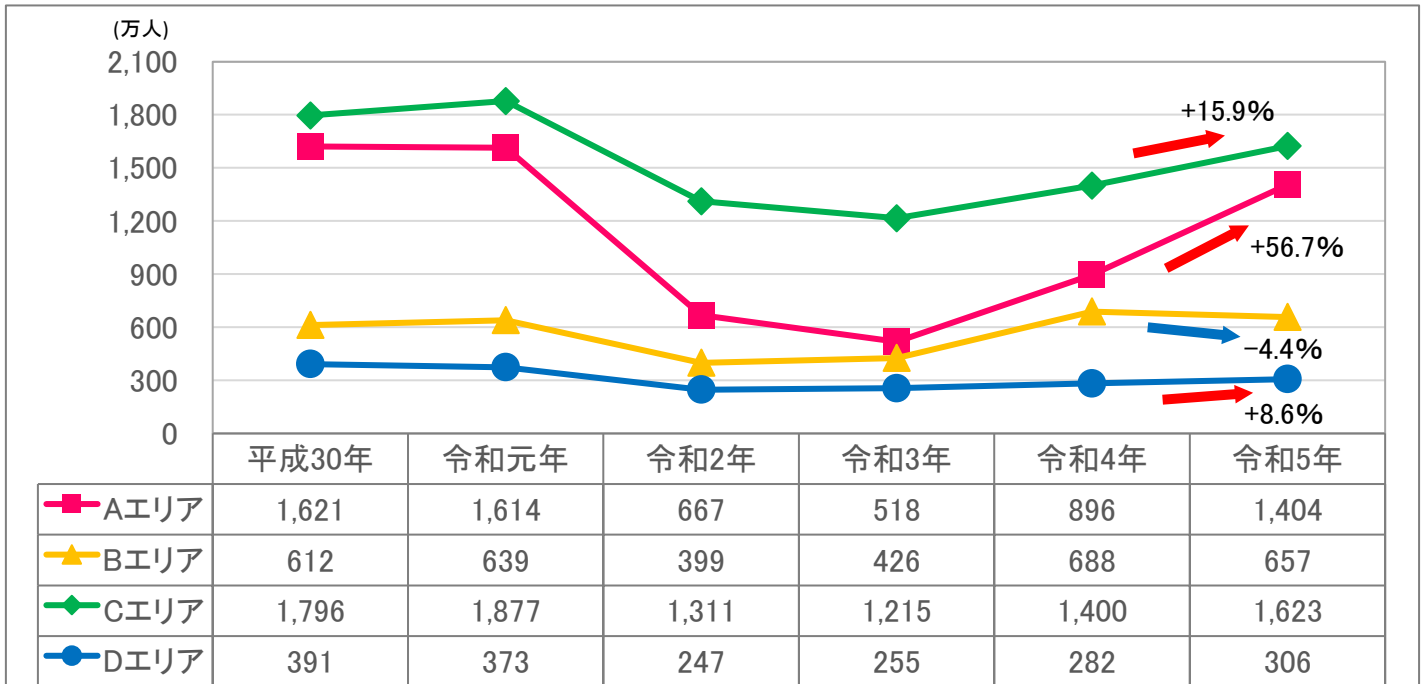
※ 千人未満を四捨五入しているため、内訳と計は一致しません。



A (県北部)	奈良市、生駒市、山添村
B (県西部)	大和高田市、大和郡山市、御所市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町
C (県東部)	天理市、橿原市、桜井市、宇陀市、曾爾村、御杖村、高取町、明日香村
D (県南部)	五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村

2. エリア別観光客数

エリア別観光客数の推移【平成30年～令和5年】



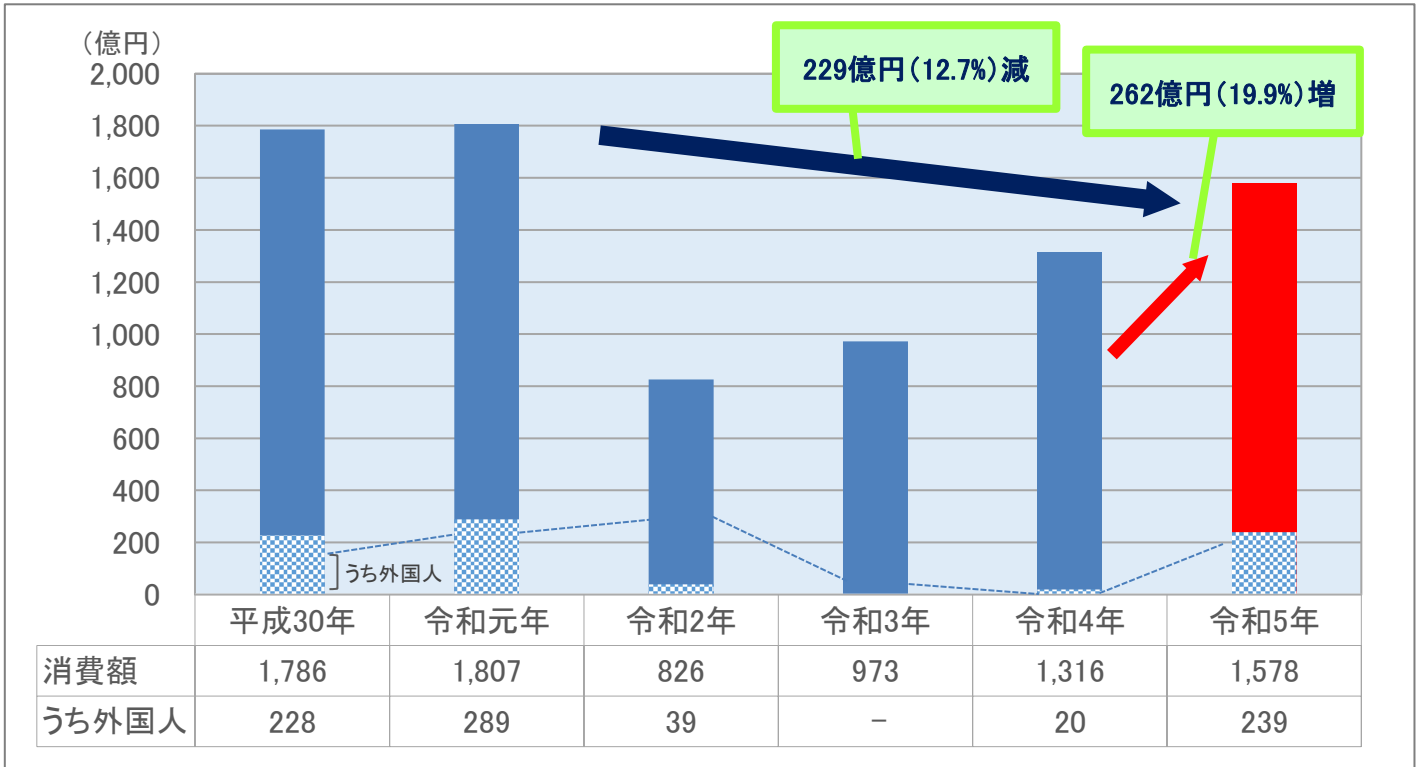
A	令和元年比： 210万人減 (▲13.0%)	新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症になり、観光需要が高まったものの、社寺やイベント・行事等、人が集まる場所への客足の回復が鈍く、減少となった。
	前年比： 508万人増 (+56.7%)	若草山山焼など、コロナ禍で規模縮小していたイベント・行事等について再開されたことや、奈良国立博物館で「浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念 特別展」が開催されたこと等が影響し、前年を大きく上回る結果となった。
B	令和元年比： 19万人増 (+2.9%)	法隆寺が世界遺産に登録されてから30周年であることから、法隆寺で特別ライトアップがされたり、王寺町でバルイベントが開催されたこと等から観光客数が増加した。
	前年比： 30万人減 (▲4.4%)	「お城まつり」「広陵クリスマスフェスタ」など、コロナ禍で中止や規模縮小されていたイベント・行事等が再開されたものの、前年寅年で大変賑わった信貴山朝護孫子寺の客数が反動により例年並みに戻ったことから、前年に比べ減少となった。
C	令和元年比： 254万人減 (▲13.5%)	「橿原市昆虫館」や「高取城跡」など客足が戻りつつある観光施設もあるものの、寺社の参拝や初詣の賑わいが回復せず減少となった。
	前年比： 223万人増 (+15.9%)	新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症になったことから初詣の客数の増加が見られたことや、「大和さくらい万葉まつり」等の各種行祭事・イベントが賑わったことにより、前年を上回る結果となった。
D	令和元年比： 67万人減 (▲17.9%)	「五代松鍾乳洞」「面不動鍾乳洞」等、令和元年に比べ賑わいを見せている施設もあるが、温泉施設や道の駅等への客数が回復していないことが影響し、減少となった。
	前年比： 24万人増 (+8.6%)	コロナ禍に休止されていた大台ヶ原の「第19回ヒルクライム大台ヶ原 since2001」が開催されたり、7月からリニューアルした道の駅「十津川郷」が賑わいを見せたこともあり、観光客数は前年を上回る結果となった。

3. 宿泊・日帰り別観光消費額

令和5年の観光消費額は**1,578億円**で、前年比**262億円（19.9%）の増加**となりました。コロナ禍前の令和元年と比較すると**229億円（12.7%）の減少**となりました。

観光消費額が増加した主な要因としては、観光入込客数(実人数推計)が前年比で+4,220千人(+19.5%)と増加したことが影響しました。

観光消費額の推移【平成30年～令和5年】



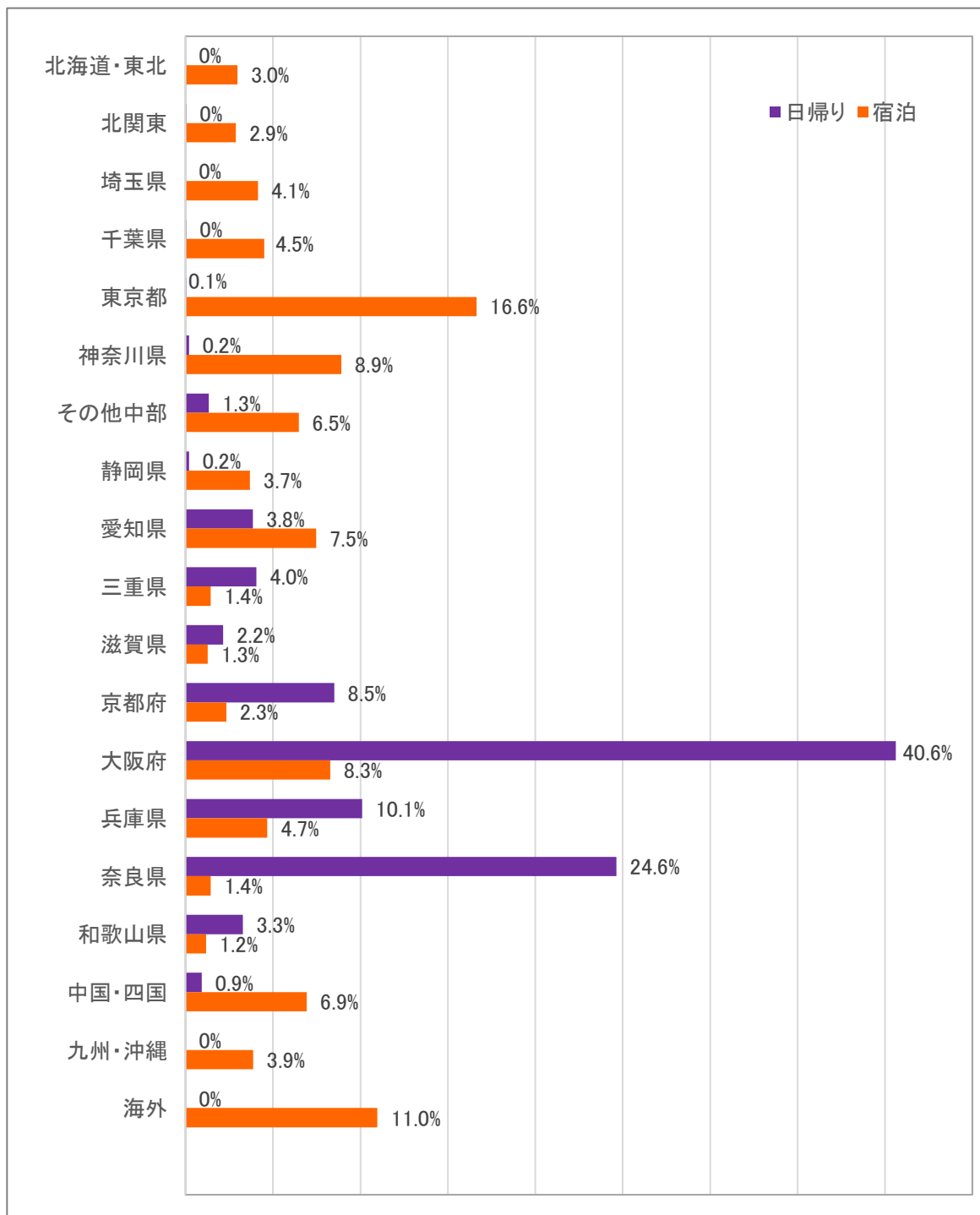
		令和元年	令和4年	令和5年	令和元年比較		前年比較	
観光消費額		(単位: 百万円)						
宿泊		68,299	58,927	67,900	-399	-0.6%	8,973	15.2%
	うち訪日外国人	15,791	807	12,882	-2,908	-18.4%	12,076	149.2%
日帰り		112,392	72,626	89,912	-22,480	-20.0%	17,286	23.8%
	うち訪日外国人	13,096	1,203	11,025	-2,071	-15.8%	9,822	816.4%
合計		180,692	131,553	157,812	-22,879	-12.7%	26,259	20.0%
	うち訪日外国人	28,886	2,010	23,907	-4,979	-17.2%	21,897	1089.6%
1人あたり観光消費額		(単位: 円/人回)						
宿泊		24,807	27,645	26,695	1,888	7.6%	-950	-3.4%
	うち訪日外国人	27,079	21,764	48,231	21,153	78.1%	26,468	121.6%
日帰り		4,569	3,712	3,848	-721	-15.8%	135	3.6%
	うち訪日外国人	5,914	4,840	4,543	-1,372	-23.2%	-298	-6.1%
合計(平均)		6,606	6,060	6,091	-515	-7.8%	31	0.5%
	うち訪日外国人	10,326	6,755	8,874	-1,452	-14.1%	2,119	31.4%
観光入込客数(実人数推計)		(単位: 千人回)						
宿泊		2,753	2,127	2,544	-210	-7.6%	416	19.6%
	うち訪日外国人	583	32	267	-316	-54.2%	235	742.1%
日帰り		24,599	19,563	23,366	-1,233	-5.0%	3,804	19.4%
	うち訪日外国人	2,214	249	2,427	213	9.6%	2,178	876.4%
合計		27,352	21,690	25,910	-1,443	-5.3%	4,220	19.5%
	うち訪日外国人	2,797	280	2,694	-103	-3.7%	2,414	861.2%

※観光入込客数(実人数推計): 延べ入込客数を基に、アンケート調査により得た観光客1人あたりの平均訪問地点数等を考慮し推計しています。

4. 来訪者の発地

■ 来訪者の発地割合(アンケートの回答者数:3,064人)

- ・日帰り観光客は関西圏(89.3%)からの来訪者が多く、最も多いのが大阪府(40.6%)、次いで奈良県内(24.6%)、兵庫県(10.1%)となっている。
- ・宿泊観光客は関東圏(37.1%)や関西圏(19.2%)からの来訪者が多く、最も多いのが東京都(16.6%)、次いで海外圏(11.0%)となっている。



※ 奈良県内での宿泊を伴わない観光客を日帰り観光客として集計しています。

※ 回答が少数の道・県は、地域ブロックにまとめています。

地域ブロック	都道府県
北海道・東北	北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県
北関東	茨城県 栃木県 群馬県
その他中部	新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県
中国・四国	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県
九州・沖縄	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県

調査の概要(参考)

観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」(以下、「共通基準」という。)に準拠した調査を四半期ごとに実施し推計を行った。
なお、報告書内の数値は、端数を四捨五入して表記している。

観光地点等入込客数(延べ人数)調査

市町村が観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に入込客数を調査し、県が集計。
※一部施設について、R4.4月～6月、R4.10月～12月、R5.4月～12月は推計値を用いています。

【集計対象数】 … 254

【調査対象】

観光地点については次の①～③に掲げる要件の全てを満たすもの、「行祭事・イベント」については②及び③の要件を満たすものを集計対象とした。

- ①非日常利用が多い(月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満)と判断される地点であること。
- ②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

アンケート調査

県内の10地点において、平均訪問地点数、観光消費額単価等について調査を行った。

【アンケート回答者数】 … 3,064人

【実施場所】

- | | |
|-----------|------------|
| ・東大寺 | ・信貴山朝護孫子寺 |
| ・唐招提寺 | ・法隆寺 |
| ・ならまち格子の家 | ・石舞台古墳 |
| ・大神神社 | ・金峯山寺 |
| ・長谷寺 | ・道の駅「十津川郷」 |

【実施時期】

- ・ 冬 : 令和5年1月22日(土)、29日(土)、30日(日)、2月4日(土)、11日(土)
- ・ 春 : 令和5年6月17日(土)、18日(日)
- ・ 夏 : 令和5年8月26日(土)、27日(日)
- ・ 秋 : 令和5年11月19日(土)、20日(日)